

自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 各務・八木山自治会連合会
2. 日 時 平成29年6月15日（木） 19時00分～20時30分
3. 場 所 鵜沼市民サービスセンター
4. 出 席 者 自治会長 23名、 市長、 企画総務部長

<内容>

○連合会長のあいさつ

○市長のあいさつ

○行政の説明

- ・ ひと・くらし・まち とともに「育む」各務原

○テーマ概要

テーマ①：自治会活動を広報できるホームページ

テーマ②：おがせ池の散歩コースと夜間照明

テーマ③：各務山（前山）の整備について

○提言による懇談

テーマ①：自治会活動を広報できるホームページ

<八木山自治会連合会長>

私自身27年間居住していますが、自治会活動に関わることなく過ごしてきました。今回連合会長に就任して、改めて、地域の方々のご努力、ご尽力により成り立っていることが分かりました。地域力を生かした取り組みとして、八木山連合会のホームページが立ち上がっています。地域の各種団体等の内容があり、何とか地域の皆さんの力になりたい、活動を地域の皆様に周知したいとお話がありますが、内容の更新等ができていないページもあります。

市内でホームページを立ち上げている連合会は、私の調べたところでは、鵜沼第3と緑苑、八木山の3連合会かと思います。また、市ホームページを閲覧しますと自治会のページがあり、まちづくりミーティングの紹介等がありますが、個々の自治会の活動等の掲載はありませんでした。

今回の提言は、各地域での活動の紹介等が閲覧できるリンク先を作成していただき紹介することにより、活動や方向性等の確認ができるとともに、新たな自治会活動の展開ができると思います。私の調べた範囲では、神奈川県藤沢市が実施してみえます。インナーブランディング（理念の共有・浸透）ができ、自治会の今後のあり方について問題等を共有できると考えています。

今回のミーティング開催に際し、多数の要望等もありましたが包括させていただき、市ホームページによるリンク及び紹介により、各種団体の問題等の対応や高齢者の活性化、少子化問題、市が進める定住促進事業及び各自治会のPR等の横軸展開ができると思います。

ホームページのシステムの問題等については専門の方の協議が必要と判断しますが、自治会活動を盛り上げることが、市の将来像構築に重要ではないかと考えています。

<市長>

市の基礎自治を構成していただく388自治会、18の自治会連合会があります。自治会の活力が市の活力に直結していると思っています。少子化や高齢社会に向かうなか、個人や家族では解決できない課題も増えており、地域のつながりの重要性が増していくと思っています。昨年度の熊本地震等においても地域住民の支え合いが重要であったとの住民意見もあり、自治会活動の重要性を理解されたと思っています。しかしながら、自治会の加入率は、若干減少しており、各種団体を含め、役員が回ってくると大変等のことから辞退したいとの意見もあり、改めて啓発活動が重要であると認識しています。

5月1日号広報紙の自治会特集「広げよう地域のつながり」にて、昨年度の鶴沼第2自治会連合会長さんが、対話を続けることで仲間意識が深まり、地域の改善に向けて積極的な意見を出し合えるようになりました。また、関係団体との連携の重要性についてもコメントを寄せてみます。広報紙において、コメントを掲載させていただくことにより、市民の皆様に自治会の必要性について、ご理解がいただければと思っています。

今回のご提言は、いろいろな啓発活動の中からホームページの活用ということですが、市内には、先ほど会長が紹介された連合会が、ホームページを立ち上げてみます。自治会内に専門的な知識を有した方が、必要になってくると思います。

市としても、現在運用いただいているホームページについては、積極的にPRしていきたいと考えています。また、市内に住居を考える方にとっては、現地に出向く前の最初の1歩としてのホームページは重要と考え、充実していく必要があります。

外部リンクの充実については、セキュリティ面でハードルが高く、特に近年は、サイバー攻撃に対する対応として、外部リンク先の対策等も必要な場合もあると考えますので、先ほど紹介のありました藤沢市等を参考に検討していきたいと思っています。これからも、ホームページは有効なPR手段との認識があり、課題等もあると思いますが検証させていただき、可能であれば導入していきたいと考えております。

テーマ②：おがせ池の散歩コースと夜間照明

〈おがせ町城之屋敷自治会長〉

おがせ池周辺に、夜間の防犯と桜の開花時期の幻想的な空間の演出及び市民の夜間散策コースとして新境川堤防に設置されている照明をおがせ池周辺にも構築してどうかと思います。

各務原市の観光名所として、市民に親しまれているおがせ池を発展させ、魅力あるまちづくりの一翼を担うことができると考えます。池周辺は、夜間は真っ暗な状況で、夜間に通行する市民からは、以前から照明等の整備の要望があります。防犯灯が数カ所設置されていますが、池周辺の散策コースには照明がなく、段差さえわからない状況です。

散策コースに等間隔で照明を設置することで、夜間の安全の確保と幻想的な光の演出をすることにより、新たな観光名所として周辺市町にアピールできると考えます。また、以前は、桜まつりの第2会場として賑わいを見せていたこともあり、夜桜観光の新名所として、期待するところでもあります。

〈市長〉

おがせ池は、スイレンのほか、周辺には、数多くの寺社があります。今年は7月22日に県内トップを切って花火大会も開催される予定で、今でも多くの観光客が訪れており、近年では市北

部を各務原アルプスなどへのハイキングコースの起点として多くの方が利用されてみえます。現在、来訪者のほとんどが日中のご利用であり、来訪者用の駐車場も原則は夜間使用禁止となっています。

一方で、おがせ池の周回遊歩道は約 1.2Km あり、健康増進のためのウォーキングコースとして、多くの市民の皆さんが利用され、地元住民の皆さんの地域愛、郷土愛を強く感じます。

周辺の現状については、道路照明灯や防犯灯が所々に設置され、路線としては明るい印象ですが、歩道を照らす照明がないため、歩道は暗い状況となっており、夜間ウォーキングをされる市民の方のための健康増進と防犯上の観点から検討していきます。

防犯灯については、平成 26 年度から LED 化を実施し、ほぼ LED 照明に変わっています。おがせ池東側については、歩道側に電柱が数本あり、車道側の防犯灯を移設することは可能と判断しています。

〈おがせ町城之屋敷自治会長〉

新境川に設置されている照明がイメージとしてあり、防犯灯では観光名所としてはどうかと思います。

〈市長〉

観光名所の観点からの整備ということもありますので、観光協会等の関係団体とも協議させていただきます。

テーマ③：各務山（前山）の整備について

〈山の前自治会長〉

各務山の砂利採取事業終了後は、広大な面積を有する敷地となります。過去にも、各務地区の発展を主眼にした各務山の道路整備を議題としてミーティングを実施されていますが、将来的には、工業団地や住宅地等の用途に活用でき、南北を縦貫する新たな道路整備を含めて、市が想い描く今後の構想、位置付けについてお示しください。

〈市長〉

各務山は、周囲に中央小、中央中、コパン、テニス場、サッカー場、旧おがせゴルフ場等の施設が点在する約 100ha の広大な土地で、以前から利用計画について考えていました。

市内には優良企業が多数あり、拡張に伴う用地取得の希望もあります。

須衛地区にある VR テクノセンターも 3 期まで拡張してきましたが、完売の状態であり、市内外の企業からの問い合わせに対して、紹介できる土地がない状況です。

そこで、各務山・前山地区を新たな開発地として有効利用したいとの考えから基本プラン等を策定しています。西側の 15ha については、市で整備し、東側については、県で開発していただけないかとの要望を出させていただいています。

また、現在給食センター東側の T 型交差点を各務地区の円滑な交通が図れるよう、各務山開発に併せた道路の整備方針と新愛岐大橋への交通誘導について検討してまいります。

平成 28 年度には、県において、工場用地候補地の基本的調査である「工場用地開発可能性調査」が実施され、各務山全体を開発した場合の概算事業費や想定分譲価格、採算性を検討し、事業化の可能性が高いことが検証されました。

各務原市では、東海環状自動車道西回りの全面開通やリニア中央新幹線開通を見据え、近年好

調な企業誘致を更に加速させるため、県と連携を図りながら、工場用地開発を進めていく必要があると考えています。

現在、各務山は採土が行われており、採土事業者4社の意向調査や現地確認を実施しました。各務山の開発は、採土後の跡地利用が前提であり、採土の進捗状況に合わせ段階的に整備したいと思っています。今年度、西側15haの道路や区画、緑地の配置などの基本設計の策定を予定しています。併せて、採土事業者との意見交換や地権者の皆様への意向確認、また、大きな開発事業ですので、地元の方への説明等させていただき、市内外の企業から望まれている工業用地の開発を目指して頑張っていきたいと考えています。

〈須衛第2自治会長〉

各務山の開発は壮大な夢があり良いと思いますが、道路が新愛岐大橋につなぐ構想をお聞きして、交通量が増大すると思われるので、各務山を含めた周辺地区の交通対策も併せてご検討いただきたいと思っています。

〈市長〉

交通量は増大すると想定しておりますが、交通量調査等を実施して、道路全体から見た安全対策等は、各務山に限らず、周辺全体を把握し、交通安全を最優先にして開発していきたいと考えています。

○その他の主な発言

〈おがせ町第4自治会〉

市民清掃のゴミ処理について伺います。大量に出た雑草等の処分を市農政課へ問い合わせところ、市民清掃のゴミは、取り扱いしていないとの回答を受け、担当課を聞くとお待ちくださいとのことで、まちづくり推進課、道路課等いろいろな部署があることが分かりました。公園の掃除は河川公園課とか、清掃活動に伴うゴミ処理について担当課の一本化はできないのですか。

また、自治会長が連絡した場合は、回収が早く、ボランティアで実施した方が連絡すると回収に時間がかかることがあります。

〈市長〉

職員の対応についてはお詫び申し上げます。あつてはならないことであり、対応等について再度、徹底するように指導いたします。清掃活動に伴うゴミ処理については、農政課、道路課、河川公園課、観光交流課など清掃場所によって扱う部署が多岐に渡りますが、自治会やボランティアの皆様からのご連絡は、先ずはまちづくり推進課にご連絡いただきましたら各々の担当部署へお繋ぎさせていただきます。

〈松が丘連自治会長〉

数年前から要望書を提出していますが、鶴沼中学校前の道路は、場所により40キロや50キロの速度制限となっています。坂祝パイパスとつながり交通量も増えています。八木山地区内は高齢者も多く、また、学校に隣接した道路であり、大きな事故が起きないと規制ができないのではなく、地元要望事項であり、早急に速度規制を40キロにしていきたいと思っています。

〈市長〉

交通事故は、発生してからでは遅いと私も思っています。痛ましい事故を防ぐため、交通規制

は守るモラルの啓発も重要と考えています。

交通規制については、公安委員会の権限ですが、私の方からも再度強く要望いたします。なお、特にスピードが出てしまう坂道等については、カラー舗装をするなど、市ですぐに対応できることもありますので、必要な箇所等をご要望いただければと思います。

〈須衛会本自治会長〉

LED 防犯灯が普及しましたが、電気代等の自治会負担もあり、地元から出る要望すべてを設置することは難しい点もあります。市販されているソーラータイプの照明を設置してはとの意見もありますが、防犯灯の定義として明るさの基準等がありますか。

〈市長〉

防犯灯の必要な照度については、調べて後日報告させていただきます。

現在、設置しているLEDタイプの電気代は、従来タイプの半分程度の電気代負担と聞いています。そのため、設置要望の件数も増えていますが、防犯という観点から市としても可能な限り速やかに設置させていただきたいと思います。

ソーラータイプの設備は照度的なこともあると思いますが、現在設置している電気式の方が、機械的に耐用年数が長いというように聞いております。

○連合会長からまとめのことは

○市長からまとめのことは